

平成30年度 和歌山市立 加太 中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 神崎 信彦 作成日 平成30年 4月 2日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力が向上するよう指導してほしい
- 楽しく中学校生活を送れるように
- いじめのない学校であってほしい
- 地域との連携を深めてほしい
- 一人ひとりの個性を伸ばしてほしい

【学校教育目標】

『高い知性 豊かな情操 強い意志』のある生徒の育成

【めざす児童(生徒)像】

- 礼儀正しい生徒 ○時刻を守る生徒
- 整理整頓のできる生徒
- 人の気持ちを理解し、思いやりのある生徒
- 学習に真剣に取り組む生徒
- 自立的で規範意識のある生徒

前年度の学校評価

- 生徒数の減少が進むため、魅力を感じる学校作りを進めてほしい
- 放課後の補充学習が充実している
- 生徒間の教え合いができています

本校生徒の実態

- 地域や学校で、誰に対しても元気よくあいさつができる
- 「早寝、早起き、朝ごはん」が実践できている
- 集中して、学習に取り組んでいる

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基本的な生活習慣と学習規律を確立する
- 魅力ある授業を実施し、基礎基本の定着を図る

豊かな心の育成

- ◎道徳、人権教育の充実を図る
- ◎学校行事や体験学習を地域との連携を深め、充実させる
- いじめの未然防止、早期発見

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎幼小中の連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 放課後を中心とした補充学習を充実させ、基礎学力の定着を図り、学力向上をはかる
- 朝の読書タイムや昼休憩、放課後の図書室利用(常時開放)を促進し、読解力をのばす
- 年間を通し、授業時間を確保する
- 現職教育を充実させ、「生徒が興味を持ち、楽しく良くわかる授業」を行う
- 小学校との連携による系統だった授業の推進を図る

- 「私たちの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用し、道徳科を見据えた授業を行う
- いじめアンケートを各学期に実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 地域での職場体験学習(1、2年生で実施)を通して、望ましい職業観、勤労観を育てる
- 奉仕活動(加太海岸清掃活動など)を地域の方々と協働して実施することにより、多くのことを学ぶ

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を継続して実施する
- 本年度より完全給食がはじまったことから、より一層食育の充実を図る
- 幼稚園・小学校・中学校・地域・関係機関と連携した総合的な津波・地震防災訓練を実施し、危機回避能力を育成する
- 運動部活動への加入率の向上を目指す
- 昼休憩の運動を勧める

- 地域が主催する祭事や清掃活動等に積極的に参加し、帰属意識を高める
- 地域におけるボランティア活動に積極的に参加する
- 学校ホームページで、学校の様子を積極的に発信する
- 11月の学校開放月間の充実
- 地域と連携した防災訓練の実施
- 地域の多くの方々に来校していただけるような催事を実施する
- 小中連携会議を毎学期実施

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が市平均を上回る
- ・授業を工夫し、個に応じた指導を行っている。(生徒・教員 90%以上)

- ・学校が楽しいと感じる(生徒100%)
- ・「私たちの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」の活用100%
- ・いじめの解消率100%

- ・朝ごはんを食べた(生徒100%)
- ・運動部活動加入率(60%以上)

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)
- ・合同避難訓練への地域の方々の参加者(100名以上)

◎：特に重点的に取り組むこと